

こんにちは ふくま健治です

活動報告ニュース
21年10月号

大分市議会第3回定例会が閉会

9月27日、最後の本会議が開かれ、決算審査特別委員長報告、質疑、討論で長丁場の市議会は閉会しました。令和2年度の決算認定について、党議員団を代表して斉藤議員が反対討論をおこないました。私は決算審査特別委員会全体会で反対討論をおこないました。

令和2年度歳入歳出決算の特徴



一般会計と9特別会計を合わせた総計決算額は、実質収支は、およそ52億円の黒字。一般会計の実質単年度収支は、7,274万4千円の赤字。新型コロナウイルス感染症の影響が色濃くあらわれた決算となっています。

—歳入について—

自主財源の市税は、構成比率は32.5%で前年度の43.7%と比べ11.2ポイント低下。新型コロナウイルス感染症の影響などで対前年比19.7%の減、で、市税総額で約9億4千万円の減収。市税の徴収は納税者の実態に配慮した対応を求め、税の二重取りともいえる都市計画税に反対しました。

依存財源—地方交付税は前年度比16.6%の減、その一方で、国庫支出金は前年比151.2%の増、地方消費税交付金が前年度に比べ18億5千3百万円21.6%増。自営業者や低所得世帯など負担が重い消費税は、早急に引き下げを要求し、地方消費税交付金などの消費税に係る歳入に反対しました。

—歳出—



新型コロナウイルス感染症対策として、中小業者等への家賃支援、感染防止策、子育て支援など事業には賛同。大企業優遇や不要不急

の大型事業、住民合意が不十分な事業、行政改革押しつけとなっている●企業立地推進事業、●国民健康保険税最高限度額は、96万円から99万円の引き上げ。●豊予海峡ルート推進事業、●祝祭の広場機能強化事業、●マイナンバー関連経費、●有料指定ごみ袋事業、●同和対策関連事業費などの決算認定に反対しました。

いよいよ総選挙、政権交代実現を

公示10月19日、投開票10月31日

比例は共産党へみなさんの力をお貸してください

安倍・菅政治の9年間、「自己責任押し付け」「国政私物化」「強権・金権腐敗」の政治にさよならして、国民の「SOS」に応える政治への転換のために、野党と市民の共闘の勝利、「なりより、いのち」「ぶれずに、つらぬく」日本共産党の大躍進が必要です。

山下がい事務所開き—10月9日



オール大分・赤とんぼの会の関係者などが激励のあいさつ。山下予定候補は、市民と野党の共闘で、「政権交代実現」を熱く語りました。

真島氏と街頭から訴え—10月10日



真島省三氏（九州比例予定候補）が来県し、市内5か所で訴えました。私も堤県議と同乗し、「比例は日本共産党」へと訴えました。

寒田川のハザードマップを



寒田川への水位を把握できる監視カメラの設置、避難所までの急傾斜地など危険個所の改修等を申し入れました。

子どもが危険、水路に防護柵を



隣接する水路が子どもにはあぶないと要望があり、現地を調査しました。「防護柵」「ガードパイプ」設置などを求めています。

暮らしや地域の要望をお寄せください

ふくま健治生活相談所

大分市東大道3-2-6
546-4505（FAX兼用）
携帯090-2714-5612

